



2012年は1月2日(月・祝)より開館!

# 写美のお正月 2012

1月2日(月・祝)は展覧会が **入場無料**

1月3日(火)は入場料が2割引になります

開館時間：2012年1月2日(月・祝)～1月3日(火)は11:00～18:00  
(4階図書室は1月5日(木)より開室します)

※2011年12月29日(木)～2012年1月1日(日)、1月4日(水)は休館  
※2012年1月5日(木)より通常開館(10:00～18:00、木・金は20:00まで)

## 1月2日(月・祝)・3日(火)はたのしいイベントがいっぱい!!

### 新春フロアレクチャー

出品作家と学芸員が展示を解説します  
(1/2はどなたでも参加可。1/3は当日の観覧チケットを持参)

1月2日(月・祝)・3日(火) 各日

11:30～12:15 **「写真の飛躍」**(2階展示室)

出品作家：1月2日 西野壮平、北野謙、春木麻衣子  
1月3日 添野和幸、佐野陽一  
展示解説：丹羽晴美(東京都写真美術館学芸員)

出品作家  
来館!

14:00～14:45 **「見えない世界のみつめ方」**

(地下1階展示室)

出品作家：小阪淳、doubleNegatives Architecture[dNA]、  
鳴川肇(3作家とも両日来館します)  
展示解説：山峰潤也(東京都写真美術館学芸員)

### しゃび雅楽

無料!

日本の伝統音楽である雅楽で新春をお祝い。毎年大好評の橘雅友会のみなさまによる演奏とトークをお楽しみください。

1月2日(月・祝)・3日(火)

各日13:00～、15:00～

鑑賞無料

場所：2階ロビー

出演：橘雅友会



空くじなし!

### おめでとう写美クイズ

クイズに答えてすてきな写美グッズを当てよう!  
(1/2はどなたでも参加可。1/3はチケット購入時にクイズ用紙をお渡しします)



抽選場所：2階総合カウンター

1階ミュージアムショップ

### ナティブ バイテン 福袋 3,000円(税込)

写真集やすてきな雑貨など、約2万円相当の商品がはいった毎年大好評の福袋です。お早めにどうぞ!  
(限定25個)

1階カフェ

### サンプル クレール ベルギー生ビール「サンフーヤン ノエル」 1杯 1,100円(税込)

冬季限定のベルギー直輸入生ビール「サンフーヤン ノエル」は、まるやかでコクのある味わい。生ビールならではのみずみずしさをお楽しみください(無くなり次第終了)

お問い合わせ：東京都写真美術館 03-3280-0099

年末年始に楽しめる!

# 展覧会の見どころ

**3階展示室** 2011年12月10日(土)～2012年1月29日(日)

## ストリート・ライフ ヨーロッパを見つめた7人の写真家たち

イギリス、フランス、ドイツといった世界の写真表現をリードした国々で、19世紀後半から20世紀前半にどのようなソーシャル・ドキュメンタリー写真が展開されたのかをご紹介します。消えゆく街並み、人々の暮らし、歴史ある建築物など、古き良きヨーロッパの魅力をお楽しみください。

<出品作家>

トーマス・アナン(英)、ジョン・トムソン(英)、ビル・プラント(英)、ウジェーヌ・アジェ(仏)、ブラッサイ(仏)、ハインリッヒ・ツィレ(独)、アウグスト・ザンダー(独)

- 社会問題を明らかにするために撮られたソーシャル・ドキュメンタリー写真。その魅力は“美意識”!
- 風刺画で知られるハインリッヒ・ツィレの写真作品13点を初展示!日本ではなかなか出品されない作家です
- トーマス・アナンの写真作品『グラスゴーの古い小路と街路』(1868-1877)を初展示!
- 写真技法がめざましく発展した時代。フォトグラビア印刷、ウッドベリー・タイプといった写真印刷の驚くべき美しさ、オリジナルプリントの存在感をしみじみと実感する展示です!

**2階展示室** 2011年12月10日(土)～2012年1月29日(日)

## 日本の新進作家展 vol.10 写真の飛躍 そこに原点がある。

将来性のある作家を発掘し、新しい創造活動の場として毎年開催する新進作家展。今年度は、写真の原点となる手法を生かしながら、現代のさまざまな出来事と向き合う作家5名をフィーチャーします。

<出品作家>

添野和幸、西野壮平、北野謙、佐野陽一、春木麻衣子

- これが写真!?という驚きがいっぱいの作品群!
- すべての作品が、フォトグラム、ピンホールカメラ、カラージュ、多重露光、露出といった写真の原点に立ち戻った「手法」や「特性」を駆使した“写真だからできる表現”ばかりなのです
- ポイントは「写真を自発的に見ること」。私たちが想像するより、はるかに複雑で想定外のことが起きる現実。いま、写真を見る私たちのありようが問われています。受け身になることなく写真と向き合い、いままでの記憶や認識を再考することで、新しい思考の種が見つかる。それが写真というメディアの新たな飛躍なのです

**地下1階展示室** 2011年12月13日(火)～2012年1月29日(日)

## 映像をめぐる冒険 vol.4 見えない世界のみつめ方

「拡大と縮小」をテーマに、人間が見ることの出来る領域の拡大と、多彩な世界の見方を紹介する映像展。人間の肉眼では見えない世界を知ろうとする探求心が辿り着いた、見るときめきが満載の展示です。

<出品作家>

小阪淳、doubleNegatives Architecture[dNA]、鳴川肇

- 天動説・地動説から最新テクノロジーまで、人間の“見る”進化の軌跡を貴重な資料やコレクションで紹介!
- 新しい世界のみつめ方をさぐる現代作家3人のインスタレーションは、建築、天文、科学と表現の領域を行き来する独自の世界です。世界のみつめ方が変わるときめきの瞬間を体感してください!
- 出品作家と、多彩な分野からお招きしたゲストによる対談イベントは必見です